

■第10回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
1	とみた かおる 富田 かほる	出雲市 東林木町	<p>鳶巣(とびす)地区自治協会女性理事、鳶巣すみれ会代表として地区のまちづくりに積極的に関与</p> <p>保健師の経験を活かし、次世代を担う子どもたちの健康づくりや、介護予防などに力を入れている。</p> <p>【主な活動】 ○鳶巣すみれ会(会員女性6名) リーダーとして、花づくり活動をきっかけに女性が地域のまちづくりに積極的に関わられるよう取り組んでいる。 出雲駅伝大会では、毎年200個の花のプランターを作って沿道を飾り、幼稚園、コミュニティセンターの花壇の手入れなどにより、年間を通じて地域に花で彩りを与えている。</p> <p>○はっぴートレーニング(会員約30名) 平成24年度に50～60歳を対象とした健康づくり団体を立ち上げ、代表を務める。 コミュニティセンターのスポーツ活動や福祉活動などに積極的に参画 今年度18回目となった「鳶巣健康ウォーク」は地区内外から約300名が参加、立ち上げから現在まで運営の主要メンバーとして活躍</p>	<p>研修で出かけた出雲市稗原地区の取り組みを参考に、通院、買い物、草刈りなどちょっとした身の回りのお手伝いにより、年老いても安心して暮らせるまちづくりを目指し、平成25年に夫婦で「鳶巣お助けマン互助会」を立ち上げH25.9月～H26.9月の1年間で利用会員は12名、依頼は60回</p> <p>体が不自由になったり、体力に自信がなくなると困っていた高齢者からは、会ができてとても安心したと喜ばれている。</p> <p>海外旅行の経験が豊富でホームステイを率先して受け入れ、国際交流にも貢献</p>	鳶巣コミュニティセンター長
	とみた せいいち 富田 精一		<p>平成24年度から鳶巣地区慶人会(会員約300名)の会長を務め、世代間交流、スポーツ、福祉など活発な事業活動を展開</p> <p>【慶人会の主な活動】 ○地域の環境を守る活動 行楽やスポーツなど多くの人が利用する斐伊川土手の一斉清掃、いこい広場・コミュニティセンター周辺・幼稚園園庭の清掃、神社の清掃</p> <p>○地域の教育を支える活動 幼稚園で先生と一緒に園児に田植えや稲刈りを指導、夏休みの子どものための学習や遊びの場「夏休み学習広場」の手伝い、竹の子の生育の観察など小学校の総合学習への協力</p> <p>○地域を見守る活動 小学生の登下校の見守り、高齢者宅の訪問、入院・入園者のお見舞い</p> <p>【その他の活動】 ○鳶巣お助けマン互助会 鳶巣の高齢者を地域で支える体制を確立 買い物などの外出の援助、草刈り、家具の移動など簡単な作業、援助を希望する地域の高齢者や障がいのある方を年中無休でお世話する活動の責任者として活躍</p>		
2	しらかわ のりこ 白川 則子	浜田市 旭町	<p>交流人口を増やすことを目的に、平成25年に浜田市旭町に「縁側喫茶 都川(つかわ)の里」を立ち上げ、石垣棚田のある民家や築150年の古民家など地区内4戸の自宅の縁側を開放し、お茶を飲みながら都川の原風景とスローな時空間を味わってもらう場を提供</p> <p>則子さんは、地元の季節の素材を使った手作りのお菓子を提供 英隆さんは、趣味を活かし、地域の歴史を紹介</p>	<p>夫婦で地域の創作活動に貢献 「旭の創作活動をPRする会」を結成し、浜田市内や広島で展覧会を開き、旭町で創作(芸術)活動を行う人たちを支援</p> <p>則子さんは、地元の食材を使用した加工品作りにも積極的に取り組み、米粉推進サポーターとしても活躍</p> <p>英隆さんは、趣味の歴史を活かし、公民館で歴史の会を立ち上げ、会報誌「都川の里」を発行</p>	浜田市旭支所
	しらかわ ひでたか 白川 英隆		<p>お互いの趣味を活かして縁側喫茶を始めることができ夢が叶い、知り合いが増え喜んでいる。 現在は都川だけの取り組みだが、将来は旭町全体を回って楽しんでもらえるよう仲間を増やしていきたい。</p>		
3	むらたけ ちよこ 村武 千代子	浜田市 旭町	<p>交流人口を増やすことを目的に、平成25年に浜田市旭町に「縁側喫茶 都川(つかわ)の里」を立ち上げ、石垣棚田のある民家や築150年の古民家など地区内4戸の自宅の縁側を開放し、お茶を飲みながら都川の原風景とスローな時空間を味わってもらう場を提供</p> <p>千代子さんは、自家栽培の野菜や米、キノコなどを使い田舎ならではの料理を提供 正行さんは、自宅に代々伝わる民芸品や古農具を陳列したり、地域の歴史を紹介</p>	<p>縁側喫茶と地区の取り組みとの連携 都川地区花木植樹事業グループがつくる梅干しを縁側喫茶の訪問客に紹介・販売する取り組みを検討中</p> <p>定期的に地区の高齢者2世帯を訪問し安否を確認 正行さんは、映らなくなったテレビや電球が切れた時などの対応、屋根の雪下ろしや雪かきをしている。</p> <p>千代子さんは、理容師の経験を活かし散髪をしたり、話し相手になっている。</p>	浜田市旭支所
	むらたけ まさゆき 村武 正行		<p>皆さんに喜んでもらいたい、この集落を忘れないで欲しいという思いから、訪問者の話などを参考に夫婦で話し合いながら取り組んでいる。 2人が目指していた都市農村交流がやっとスタートしたところ。今後はグリーンツーリズムも視野に活動していきたい。</p>		

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
4	さわ あつこ 澤 アツ子	松江市 学園南	<p>2011年に開催された第28回日本女性会議松江大会(参加者2,167人)では、実行委員長として、数々の市民団体のまとめ役として尽力</p> <p>市民団体に組織する実行委員会が中心となった初の大会運営は、地方都市・市民団体との協働実施のモデルケースとなり全国から高い評価</p> <p>松江市次世代女性リーダー人材育成事業の指導者として、地域活動に積極的に取り組もうとする人材の育成に貢献</p> <p>【日本女性会議とは】 男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決策を探り、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図ることを目的に開催される男女共同参画に関する国内最大級のイベント</p>	<p>(公財)AFS日本協会松江支部の支部長及びスタッフとして夫婦協力し、高校留学生に多様な異文化理解、教育交流の機会を提供 ホームステイさせた高校留学生は、過去27年間で20余名を数える。</p> <p>【AFSとは】 高校生の交換留学を中心に、より公正で平和な世界の実現に必要な知識、能力、理解力を身につけるため、様々な異文化と接する機会を提供する国際的なボランティア団体(本部 ニューヨーク) 日本では、現在全国77の支部で留学生の受け入れや派遣、各種交流活動を実施 松江支部(会員数 法人3社 一般33名)は、1986年から活動を始め、これまでに35か国から196人を受け入れ、22か国へ74人を派遣</p>	松江市 市民部長
	さわ ひろゆき 澤 洋征		<p>市民活動団体「スポーツ吹矢松江倶楽部(会員19名)」で、スポーツ吹矢の普及と、高齢者向けの「吹矢体験会」を毎月開催し、健全で有意義な集いの場を提供 最近は国民体育大会の公開競技になっている。</p> <p>毎年約1,500人の市民が参加するイベント「市民活動フェスタ」では、実行委員として積極的に企画運営に携わる。</p> <p>【スポーツ吹矢とは】 1998年に日本で生まれた新しいスポーツ。しっかりと息を吸い込み、的に向かって一気に矢を吹く。静止して吹くので、年齢を問わず参加できる。</p>		
5	はた きょうこ 秦 恭子	出雲市 佐田町	<p>「毛津(けづ)地区振興協議会」において、59名の女性のまとめ役として事業の企画や実施の中心メンバー</p> <p>【協議会の主な活動】 ○美笑会(びしょうかい) 自宅敷地内に開設したしまね田舎ツーリズムの体験施設「美笑縁」を拠点に、農作業や自然散策など季節を感じられる体験を提供し、都市部の人々と積極的に交流 こんにやくやつるかご作りなど地域資源を活かした特産品作りなど地域の産業創出に取り組んでいる。また、地域でとれた農産物を他の地区(出雲市佐香(さか)地区)のイベントに出店するなど、交流事業も実施</p> <p>○朝霧の郷(あさぎりのさと) 高齢者が作る野菜の集荷と出荷を行い、高齢者の生きがいづくりに貢献</p> <p>【毛津地区振興協議会とは】 窪田地区の29の自治会が住民組織として7つの「振興協議会」に再編されたうちの1つ 女性から若者まで誰もが参加できる地域づくりを進めている。会員119名(男性60名、女性59名)</p>	<p>平成15年に夫妻が中心となって地域内有志10名で結成した「朝霧の郷」は、有機肥料での野菜作りを推奨し、地域内の高齢者が作る野菜を集荷して市内のスーパーへ出荷したり、イベントやコミュニティセンターが主催する交流事業で特産品の販売を積極的に行っている。</p>	窪田コミュニティ センター長
	はた たかよし 秦 高義		<p>「毛津地区振興協議会」において、初代会長として平成9年から平成24年まで15年にわたり地域づくりの推進役を務めた。会長退任後も引き続き地域づくり活動に積極的に参画し、地域の高齢者や子どもの見守り「青バト隊」の活動も行っている。</p> <p>【協議会の主な活動】 ○朝霧の会(会員約20名) 地域交流や生涯学習につながる活動として、会員自らが育てたアジサイの苗を地区の道路の法面や耕作放棄地などに植栽 高齢者が楽しみながら生きがいとして活動している取り組みは、高齢者による地域活動の1つのモデル (平成22年度県民いきいき活動奨励賞受賞)</p> <p>○毛津和楽会 とんどさん、神楽など地域行事の企画・実行</p> <p>○毛津ふれあいサロン 高齢者の憩いの場を提供</p>	<p>消費者には新鮮なおいしい野菜と評価を受ける一方、生産者である高齢者の生きがいづくりに貢献している。</p>	